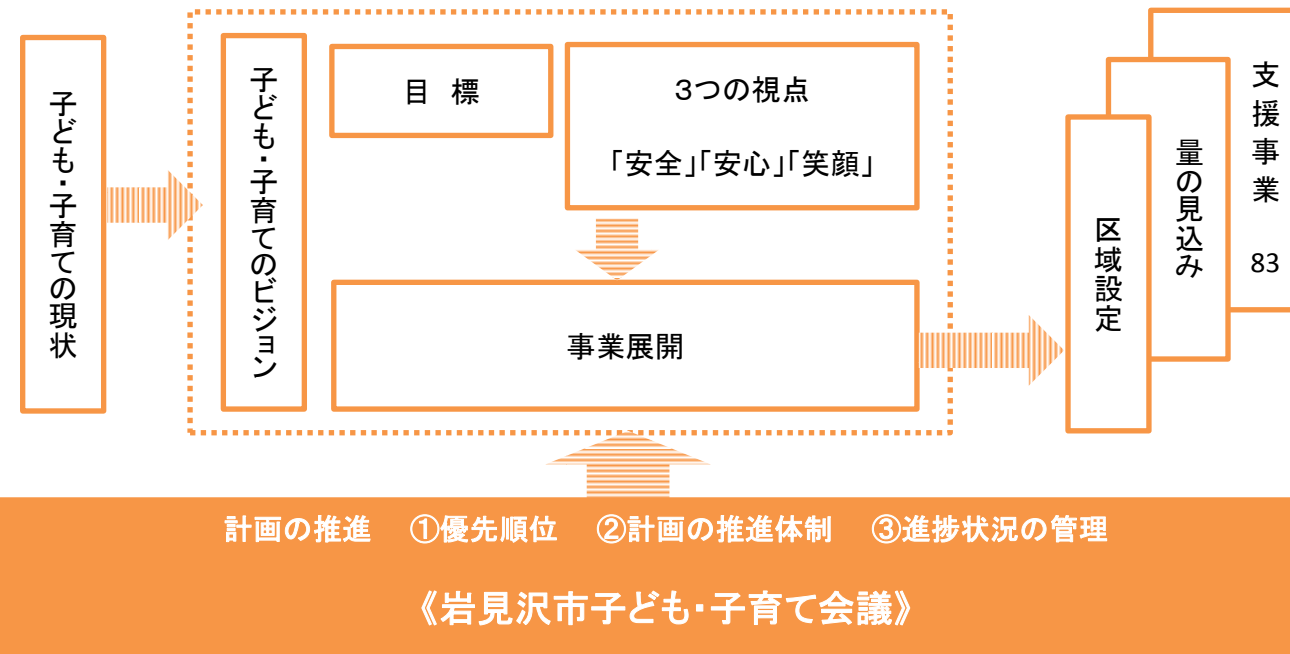


計画書完成までの流れ



計画書の構成



第3章 子ども・子育てに関するビジョン

- 1 施策の目標
- 2 基本的な考え方と3つの視点
- 3 3つの視点に基づく事業の展開

第3章では、子育て施策の目標と、基本理念として「安全」「安心」「笑顔」の3つの視点を示し、計画を推進するうえでの基本的な考え方を明らかにしていきます。

第4章 子ども・子育て支援事業計画

- 1 教育・保育提供区域の設定
- 2 幼児期の学校教育・保育
 - (1) 幼児期の学校教育・保育の量の見込み
 - (2) 提供体制の確保の内容及びその実施時期
- 3 地域子ども・子育て支援事業
 - (1) 利用者支援に関する事業（利用者支援）
 - (2) 時間外保育事業（延長保育事業）
 - (3) 放課後児童健全育成事業（放課後児童クラブ）
 - ★ (4) 子育て短期支援事業
 - (5) 妊産婦・新生児・乳幼児訪問事業
 - (6) 養育支援訪問事業及び要保護児童に対する支援に資する事業
 - (7) 地域子育て支援拠点事業
 - (8) 一時預かり事業
 - ★ (9) 病児・病後児保育事業
 - ★ (10) ファミリー・サポート・センター事業
 - (11) 妊婦に対して健康診査を実施する事業（妊婦健診）
- 4 幼児期の学校教育・保育の一体的提供
- ★ 5 子どものあそび環境の整備
- ★ 6 療育と就学等との連携
- 7 経済的に困窮する子どもの対策
- 8 前計画（次世代）から継承する事業

第4章では、子ども・子育て支援法に定められた項目について、平成25年12月に実施したニーズ調査に基づき、提供区域、各事業の必要量の見込みと、その確保策を示していきます。

また、次世代育成支援行動計画と一体の計画とするため、前計画から継承する事業についても、再度内容を確認し、今後の方針を示していきます。

第5章 計画の推進

- 1 計画の優先順位
- 2 計画の推進体制
- 3 進捗状況の管理

本計画が確実に推進されるよう、計画の推進体制と、進捗状況の確認について定め、年度ごとに点検・評価を行うことを確認します。

資料編

- 1 計画策定の経緯
- 2 アンケート調査結果の概要（報告書抜粋）
 - I 調査概要
 - II 就学前児童調査結果
 - III 小学生調査結果
 - IV 広報折込調査結果

計画策定のために実施した「ニーズ調査」や広報折込による調査の結果など、本計画の根拠となった調査結果を掲載するとともに、会議での審議経過なども資料として添付します。

第1章 計画策定の概要

- 1 計画策定の趣旨
- 2 計画の位置づけ
 - (1) 法的位置づけ
 - (2) 関連計画との関係
- 3 計画の期間
- 4 計画の策定と検証の体制

第1章では、子ども・子育て支援法施行に基づく計画策定の趣旨、本計画の法的位置づけ、関連する計画との関係などを整理します。
また、計画期間（平成27年度から平成31年度まで）の定め、計画策定後の検証体制を続けることを明記します。

第2章 岩見沢市の子ども・子育ての現状

- 1 岩見沢市の子ども数
- 2 市内幼稚園の状況
- 3 認可保育所と入所児童の状況
- 4 認可外保育施設等の状況
- 5 市内児童館と留守家庭児童対策の状況
 - (1) 児童館
 - (2) 留守家庭児童対策
- 6 子育て支援の状況

本計画は、市の子ども・子育て施策の現状をふまえ、市民のニーズに基づいたものでなければなりません。
第2章では、人口推計などもふまえながら、現状あるサービスやその利用状況などを明らかにしていきます。
次世代育成支援行動計画（後期）に位置付けられたすべての事業の評価と今後の課題等についても掲載します。